

邑楽郡青少推だより 第4号

令和2年7月1日発行



推進員の皆様をお願いしているおぜのかみさま県民運動は、セーフネット標語「おぜのかみさま」を活用し、青少年が安全・安心にインターネットを利用するための啓発活動です。この標語は、邑楽町出身の元群馬県警 磯川直義さんが、子ども達をネットの被害から守りたいと、平成25年に発案したものです。残念ながら、磯川さんは、志半ばで、病気のため他界してしまいましたが、亡くなる直前にも「児童虐待ゼロプロジェクト」を立ち上げるなど、最後まで『子ども達を犯罪から守る』という情熱を持ち続けていました。

県青少推では、啓発活動を推進するために、毎年リーフレットやクリアファイル等を作成し、紙芝居やラインスタンプ、アニメーションのYouTube配信なども行っていますので、ぜひご活用ください。

SNSに起因する児童の犯罪被害は年々増加し、とくに中学生の被害者数が急増しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、外出自粛の子ども達が、ゲームや動画視聴、SNS（交流サイト）などに長時間没頭することによる悪影響やネット上での攻撃的な書き込み（*）なども問題になっています。



【紙芝居】

*フジテレビの「テラスハウス」出演をきっかけにSNSで激しい中傷を受けていた女子プロレスラー木村花さん（22歳）が5/23に他界し、警察庁が自殺とみて調べています。

★『夏の青少年健全育成運動』（7/15～8/31）が始まります。改めて、地域と家庭で子どもたちの安全・安心なインターネット利用について、考えていきましょう。

【セーフネット標語「おぜのかみさま」】

お 「おくらない」	写真をおくらない（児童ポルノ被害）
ぜ 「ぜったいあわない」	絶対会いに行かない（準強制性交等被害）
の 「のせない」	個人情報をのせない（ストーカー被害）
か 「かきこまない」	悪口等を書き込まない（恐喝）
み 「みない」	有害サイトを見ない・見せない（健全な発育の阻害）
さ 「さがさない」	出会いを探さない（出会い系サイト規制法違反）
ま 「まもる」	時間などのルールを守る（ネット依存症）

◆呂宋町ケータイ・スマホの「か・き・く・け・こ」

携帯電話やスマホ、ゲーム機が小中学生にも急速に普及し始めたのが 10 年ほど前。簡単にインターネットに接続できるようになったため、インターネットいじめなどトラブルに巻き込まれる問題が全国で広がっていました。平成 26 年（2014）、町教育委員会の大竹喜代子教育長（当時）は「何かと便利で楽しいケータイ・スマホやゲーム機も使い方を誤ると深刻な問題につながる。町の子どもたちの使用実態を調べて、対策を立てる必要がある」と、児童生徒・保護者にアンケート調査を行いました。この結果を受けて町教育委員会が作ったのが「ケータイ・スマホの『か・き・く・け・こ』」です。子どもが自ら考える姿勢を育み、正しい使い方を身につけさせようという思いが込められています。町青少推は教育委員会と連帯し、小中学校の保護者にチラシを毎年配布するなど、PR 活動を行っています。



◆千代田町

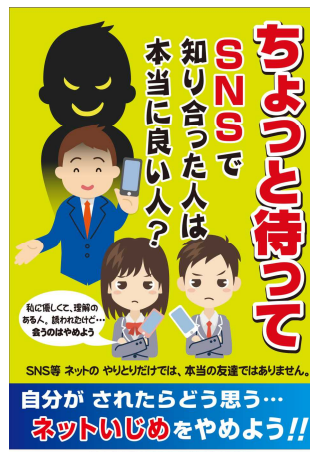
毎年 11 月 23 日（勤労感謝の日）に行われている千代田町産業祭において、青少推と少年補導員とが合同で「おぜのかみさま」をプリントした“広告入り花の種子”を無料配布しています。



【千代田町産業祭】

◆大泉町(25区)

SNS で知り合った人を簡単に信じてしまう子どもに警鐘を促したいと、会長在住区でポスターを作成し、学区の小中学校、公民館等に掲示しています。また、チラシを回覧して各家庭に周知しています。



発行/ 呂宋郡青少年育成推進員連絡協議会

編集・印刷/ 東部教育事務所生涯学習係

〒373-0033 太田市西本町60-27

TEL:0276-31-7151/FAX:0276-31-7101